

リニア推進ロードマップ

概要

リニア時代を見据えて、国では国土形成計画やスーパー・メガリージョン構想を、長野県ではリニア活用基本構想を、県及び上下伊那地域の自治体で構成する「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」ではリニアバレー構想を、南信州広域連合ではリニア将来ビジョンや南信州リニア未来ビジョンを策定・公表しています。

そして飯田市では、開業に向けた準備を遅滞なく進めていくために「リニア推進ロードマップ」を策定し、「いいだ未来デザイン2028」（飯田市総合計画）や、国・県の動き・計画等も踏まえ、毎年時点修正を行っています。

「リニア推進ロードマップ」は推進期間をリニア開業翌年までとしており、「リニア本線工事」「リニア駅前広場整備」「リニア関連道路事業」の3つの分野で、令和6年度にどこで何が行われるかを地図や工程表で具体的に示し、より効果的に事業進捗を図るよう取り組むための指針です。



【柱1. リニア本線工事】 P.1～2

JR東海によるリニア本線工事と、発生土置き場の進捗状況について記載しています。

【柱2. リニア駅前広場整備】 P.3～4

飯田市で今後整備を進めていく、リニア駅前広場の整備工事や公民協働の仕組みの構築など、より具体的な検討の方向性について記載しています。

【柱3. リニア関連道路事業】 P.5～6

長野県・飯田市によるリニア関連道路整備の進捗状況について記載しています。

柱1. リニア本線工事

中央アルプストンネル（松川工区）

中央アルプストンネル（松川工区）は妙琴公園から阿智村までの間で、延長約4.9kmのトンネル工事です。
令和4年8月から名古屋方面へ本線トンネルの掘削が行われており、令和6年2月末時点で約900m進んでいます。令和6年度も引き続き本線トンネルの掘削が行われます。

風越山トンネル（黒田工区）

風越山トンネル（黒田工区）は、飯田文化会館北の黒田非常口から松川までの間で、延長約2.3kmのトンネル工事です。
令和5年8月に、非常口トンネルの掘削が始まりました。令和6年度も引き続き非常口トンネルの掘削が進められ、その後、本線トンネルの掘削が行われます。

天竜川橋りょう

天竜川橋りょうは喬木村側を含めて約0.5kmの橋りょうです。
飯田市側では、令和5年10月から橋脚の基礎などの本体工事が始まっています。令和6年度は、非出水期間（10月～翌年5月末）に、下部工の構築が行われます。



風越山トンネル（上郷工区）

風越山トンネル（上郷工区）は、上郷北条地区から黒田非常口までの間で、延長約3.3kmのトンネル工事です。
令和5年3月～4月にかけて本線トンネルのルートや掘削工事に関する検討状況についての説明会が行われました。令和6年度は、準備が整い次第、トンネル掘削のためのヤード整備などが行われる予定です。

駅部区間

駅部区間は、上郷北条地区および座光寺地区に建設される延長約950mの地上駅です。
令和5年10月から土曾川を渡る橋りょうの東側橋脚（座光寺共和）建設に着手し、同年11月からは竜西一貫水路の付替え工事にも着手しました。令和6年度は上記の工事に加え、土曾川右岸側の中央橋脚（上郷北条）建設なども行われる予定です。

発生土置き場

- 中央アルプストンネル（松川工区）からの発生土運搬については、松川右岸の市道大休妙琴線と左岸の県道飯田南木曾線を栈橋でつなぎ、工事車両はこの両方の路線を一方通行で走行しています。
- 松川工区からはおよそ90万m³の土が発生する見込みで、発生土の運搬車両と資機材の運搬車両を合わせて、ピーク時は一日最大270台（片道）の運行を予定しています。
- 黒田工区からはおよそ50万m³の土が発生する見込みで、発生土の運搬車両と資機材の運搬車両を合わせて、ピーク時は1日最大200台（片道）の運行を予定しています。
- 飯田市内では下久堅地区内の造成などでトンネル発生土を活用しています。
- 山本地区では設計を行い、地域、関係機関と協議を行いながら進めています。



工程表

※工程表スケジュールは現時点（2024年3月）のものであり、変更となる可能性があります。

事業主体	年 度	2023(R5)迄	2024(R6)				2025(R7)～	2027(R9) 以降		
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月				
JR東海	中央アルプストンネル（松川）		本線トンネル掘削工事					リニア中央新幹線 開業		
	風越山トンネル（黒田）	準備工事		非常口トンネル掘削工事		⇒	本線トンネル掘削工事			
	風越山トンネル（上郷）		施工計画、設計、地元説明等							
	駅部区間			用地協議（補償金、移転先など個別協議）・契約・移転					準備工事（ヤード整備等） ⇒	トンネル掘削工事
				施工計画、地元説明等						
				埋文調査						
				本体工事（土曾川橋りょう）						
				本体工事（高架橋・土構造物）						
	高架橋区間			関連工事（竜西一貫水路・新戸川・市道付替等）						
				用地協議（補償金、移転先など個別協議）・契約・移転						
			施工計画、地元説明等							
天竜川橋りょう			埋文調査							
			工事着手							
			発生土受入・造成							
発生土置き場(下久堅)			発生土受入・造成							
発生土置き場(山本)			測量・設計・地元説明等					準備工事・発生土受入		

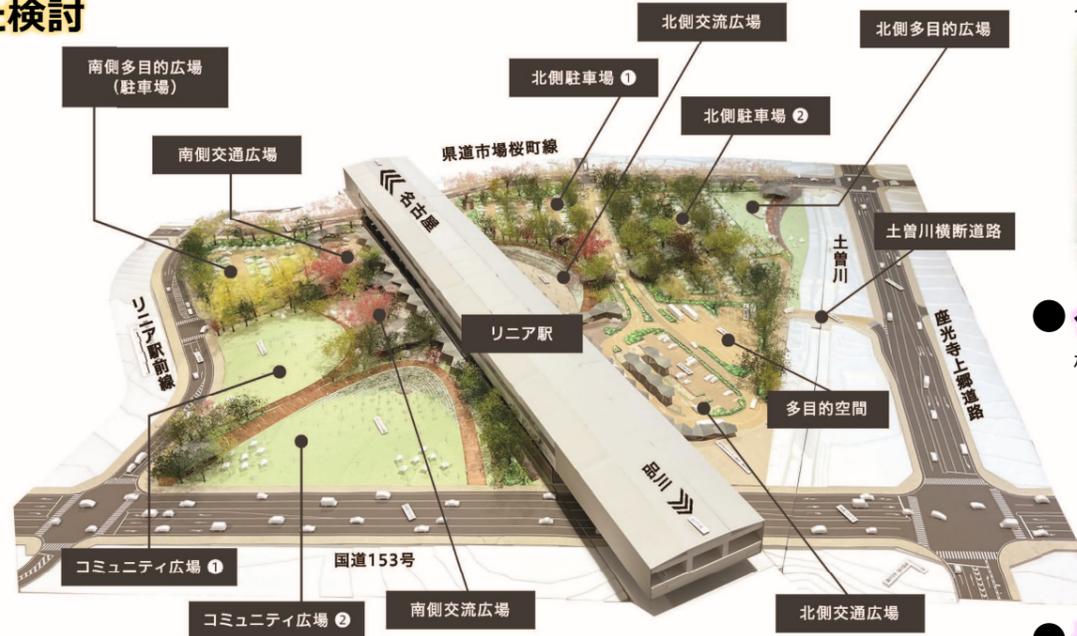
令和6年度は、リニア駅前広場の大屋根実施設計や高架下空間等の検討を予定しています。また、ワークショップや情報交換の場、広域的な検討会議により、リニア駅前広場から各地域へいざなう仕組みづくりや魅力発信施設、リニア駅前広場の管理運営事業体の組成について検討を進め、リニア駅前広場の整備と活用の両面から事業を推進していきます。



- **地域ブランド構築に向けた検討**
共同研究成果の検証、地域ブランディング方略の検討
- **管理運営事業体の組成に向けた検討**
管理運営の体制・事業性の検討・リスク分析、体制の具体化、プラットフォーム構築
- **情報発信に向けた取り組み**
地域内外へ向けた情報発信方法の検討



- **利便性の高い交通体系の検討**
駐車場システム、レンタカー、カーシェアリング等の導入方針・手法の検討
- **新たな交通システムの検討**
自動運転実証実験、自動運転導入に向けた検討
- **再エネ・省エネの検討**
再生可能エネルギー等の導入方針・手法の検討



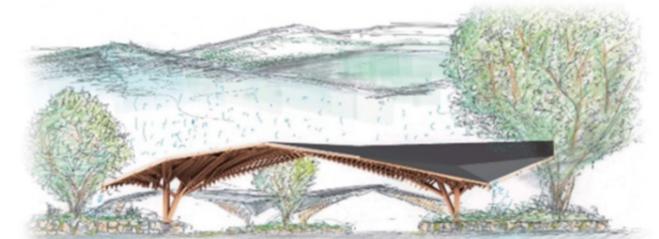
駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージです。

広域的な検討会議

リニア駅アクセス検討会議
広域二次交通、自動運転、モビリティ、MaaS

リニア駅前広場活用検討会議
観光案内、移住促進、高架下情報、イベント、魅力発信

- **土木・建築関係**
埋蔵文化財調査
大屋根実施設計、高架下空間等の検討
- **グリーンインフラ機能の検討**
植栽等の検討・選定



- **景観形成に向けた検討**
視点場の検証・眺望シミュレーション



工程表

※工程表スケジュールは現時点（2024年3月）のものであり、変更となる可能性があります。

事業主体	年 度		2023(R5)迄	2024(R6)				2025(R7)~	2027(R9) 以降
				4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月		
飯田市	駅前広場整備	用地取得		用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転					リニア中央新幹線 開業
		土木関係	基礎撤去工事		埋蔵文化財調査			準備工事・土木工事	
		グリーンインフラ	雨水排水調整池設計		植栽等の検討・選定				
		建築関係	大屋根基本設計		大屋根実施設計			木材調達	
		景観形成			高架下空間等の検討			設計	
	交通エネルギー	交通体系	事例収集		導入方針の検討		導入手法の検討		
		新交通システム	自動運転実証実験準備	自動運転実証実験		導入に向けた検討			
		再エネ・省エネ	分野別調査		導入方針の検討		導入手法の検討		
	魅力発信	地域ブランド構築	信大との共同研究		共同研究成果の検証		地域ブランディング方略の検討		
		管理運営事業体組成			管理運営の体制・事業性の検討・リスク分析		体制・事業性の具体化 プラットフォーム構築		
	情報発信			地域内外へ向けた情報発信方法の検討					
	広域的な検討会議	準備会		リニア駅アクセス検討会議(全体会及び分科会)					
				リニア駅前広場活用検討会議(全体会及び分科会)					

柱3. リニア関連道路事業

座光寺スマートIC接続道路

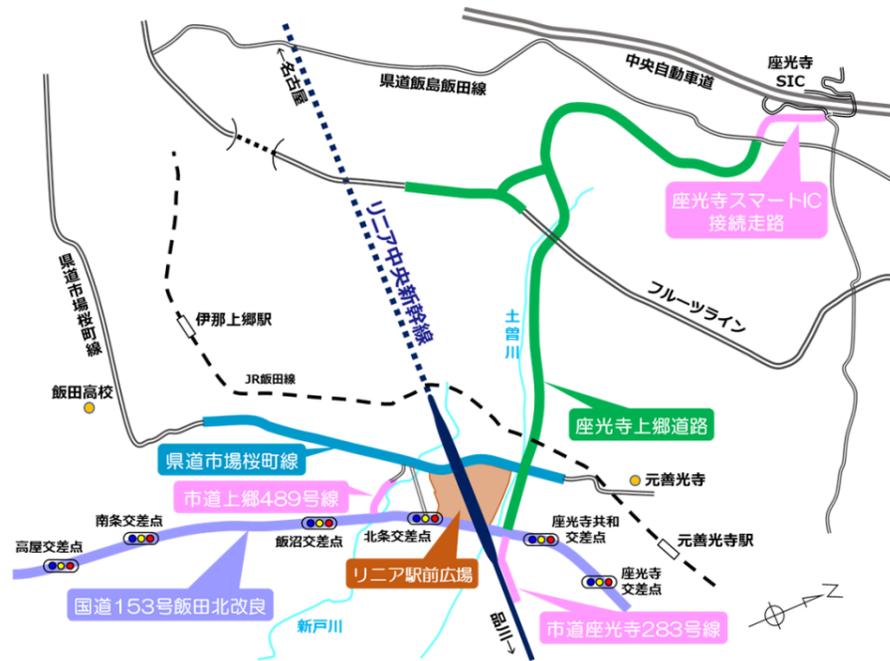
座光寺スマートICと座光寺上郷道路を結ぶ接続道路を造っています。
座光寺上郷道路の開通に合わせ、令和6年度も引き続き道路改良を進めます。

県道市場桜町線

中心市街地とリニア駅を結ぶ約1.4km区間を片側1車線の2車線（両側歩道）に拡幅します。令和5年度は土曾川橋りょうの右岸下部工（※1）と飯沼南地区の市道付替工事、市道五郎田線北側の新設交差点付近の拡幅工事が行われています。
令和6年度は上記3工事が行われるとともに、竜坂の一部区間についても拡幅工事に着手する予定です。

（※1）下部工工事：橋りょうの橋脚を構築する工事

（※2）函渠工事：横断面が四角形のトンネル河川を構築する工事



座光寺上郷道路

リニア駅と座光寺スマートICを結ぶ約3.2kmの新設道路となる座光寺上郷道路は、土曾川函渠工事や、JR飯田線の下を通過するためのアンダーパス工事が行われています。令和6年度は橋りょう架設工事や栃ヶ洞川函渠・JRアンダーパス工事が行われる予定です。

国道153号飯田北改良

高屋交差点から座光寺交差点までの約2.6kmを片側2車線の4車線に拡幅します。令和5年3月から新戸川横断箇所迂回路を構築し、新戸川函渠工事（※2）が行われています。
令和6年度は新戸川上流側の函渠工事及び土曾川下部工（左岸）が行われる予定です。

関連市道整備

リニア本線及び関連事業に伴い、関係する市道整備を行っています。令和6年度は、市道上郷489号線の道路築造工事や座光寺283号線の埋蔵文化財調査を行う予定です。

工程表

※工程表スケジュールは現時点（2024年3月）のものであり、変更となる可能性があります。

事業主体	年	2023(R5)迄	2024(R6)				2025(R7)~	2027(R9)以降	
			4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月			
長野県	国道153号飯田北改良（南側） 高屋交差点~北条交差点付近		用地物件調査					リニア中央新幹線 開業	
			用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転						
			測量・設計(R6:歩道橋撤去設計)						
	国道153号飯田北改良（駅周） 北条交差点付近~座光寺上郷道路			道路築造工事					
				新戸川函渠工事					
				用地物件調査					
	国道153号飯田北改良（北側） 座光寺上郷道路~座光寺交差点付近			用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転					
				測量・設計(R6:地下横断撤去設計)					
				道路築造工事					
	座光寺上郷道路（上段） 県道飯島飯田線~フルーツライン			用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転					
			測量・設計(R6:橋梁設計)						
			橋梁架設工事、栃ヶ洞川函渠工事、道路築造工事、市道付替工事						
座光寺上郷道路（下段） フルーツライン~国道153号			用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転						
			橋梁架設工事、JRアンダーパス工事、道路築造工事						
			用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転						
県道市場桜町線（駅周~五郎田線）			測量・設計(R6:構造物設計)						
			土曾川橋梁工事(右岸・左岸)						
			新戸川函渠工事(右岸・左岸・現況函渠修繕)						
県道市場桜町線（五郎田線以南）			道路築造工事						
			用地協議(補償金、移転先など個別協議)・契約・移転						
			測量・設計(R6:構造物設計)						
飯田市	座光寺スマートIC接続道路		道路築造工事						
			市道上郷9号線ほか 用地協議・契約・移転						
	関連市道整備		市道上郷489号線 道路築造工事				道路築造工事		
			市道座光寺283号線 埋文調査				道路築造工事		

前年度（2023年度）の主な事業内容

1. リニア本線関係

◆ 中央アルプストンネル（松川工区）



本坑トンネル掘削を実施

◆ 風越山トンネル（黒田工区）



令和5年8月 非常口トンネル掘削開始

◆ 天竜川橋りょう



令和5年10月 飯田市側橋脚基礎工事着手

◆ 駅部区間



令和5年10月 土曽川橋りょうの橋脚基礎工事着手
令和5年11月 竜西一貫水路付替え工事着手

2. リニア駅前広場整備

◆ 次世代インフラ、トータルデザイン、公民協働ブランドクリエイティブ各PJによる検討

◆ 建築実施設計の手続きに着手



3. リニア関連道路整備

◆ 国道153号飯田北改良



令和5年3月 新戸川函渠工事に着手

◆ 座光寺上郷道路



JR飯田線アンダーパス工事
土曽川函渠工事を実施

◆ 県道市場桜町線



土曽川橋りょう右岸下部工工事
飯沼南地区の市道付替工事
市道五郎田線北側の
新設交差点工事を
実施

【問い合わせ先】

飯田市リニア推進部 リニア推進課
TEL：0265-22-4511（内線3322）

リニア関連事業の状況は、右記QRコードから
映像でご覧いただけます。

